
屍になりたい女

天城

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

屍になりたい女

【NZコード】

N7246B

【作者名】

天城

【あらすじ】

私も回りも「いろんな人」の中に入っている。だけど、私は……

(前書き)

基本的に著作権は私、作者の天城にあります。

世の中には、いろんな人間がいる。

殺す人。殺される人。超能力を持つ人。歌が誰よりも上手い人。私も、周りも、その「いろんな」の中に入っている。だが、私くらいではないか?『殺されたい』と思う者は。

それは、後悔や苦しみからの願望ではなく、欲望に近かつた。

目覚めたのは、中学生の頃。マフラーをしている時に、男友達にふざけて首を絞められたのが始まりだ。

苦しみの中で、妙な快感があつた。

昔から美しい手を好むのは、その手によつて殺されたかったことの現れなのかもしない。

できれば、男性の長くて引き締まつた手に殺されたい。

首を絞められる、刃物で刺される、水に顔を押し当てられる……手を最大限に使つことなら、どんな状態も好ましかつた。

成人したある日、私は街を歩いていた。

隣にいるのは、恋人。美しい容姿の男性だつた。

そして、なにより手が好ましい……大きく、少し骨ばつた、やや白い手。

この手によつて殺されたら、どんな快感を得られるのか、見るたびに胸が高鳴つた。

私は、どうしても我慢できなくなつた。

そして、わざと彼が怒ることをしてやつたのだ。もちろん、彼は激怒した。

”許さない” そう、私を罵った。

すぐに私はベッドに押し倒され、あの手で首を絞められたのだ。

その世界は、不思議だった。

中学生の頃に体験した苦しみよりも、もっと苦しく、もっと良かつた。

痺れてくる脳…まるで、麻薬のような快感だ。これこそ、私が求めていたものだ。

なによりも、愛する男、愛する手によってされることは意味があった。

本当に、私は彼を愛し、彼も私を愛してくれたのだ。

それを思うと…少し、良心が痛んだ。自分の欲望のため、愛する彼を殺人鬼にすることを…

だが、その想いより欲求が勝つたために、今こうなっている。

私は、絞めている彼の大きな手を残つた僅かな手の力で握つた。

ありがとう

聞こえないかもしぬないが、口をパクパクさせ、そう言つた。

彼の美しい顔が悲しそうに見える…微かに、私の顔に涙が落ちた。

彼は知つていたのだ。私が、そういうことを好む変人だということを。

それをわかつた上で、異常に怒つた演技をしてくれたのだ。

私は、少し前に彼に手紙を渡した。私がいなくなつたら見て、と…

『大好きだったよ。私の体は、どこかに捨ててね。できれば、永遠

に誰にもバレないところがいい。そして、あなたがこのまま何事も
なかつたように生きれるようにいて欲しい。勝手でごめんね。
最後に…殺してくれて、ありがとう』

手紙には、そう書いておいた。

彼には、本当に感謝をしている。

どうか、来世でも私を殺して欲しいと思つた。

(後書き)

この話は、ふざけてマフラーで首を絞められた際に思いついた話です。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7246b/>

屍になりたい女

2011年1月15日20時28分発行